

(仮称) 多世代が利用できる公園づくり基本方針(案)に対する
区民等の意見の概要と区の考え方

No.	意見の概要	区の考え方
1	表 7-1 は設置順だが、所在地毎に並べ替えた方がわかりやすい。	所在地ごとにまとめて一覧を修正します。
2	高井戸わんぱく公園は都営住宅内の公園と隣接しているが塀で分断されているため、東京都と調整して一体利用できるようにすべきではないか。	公園改修の際には東京都と調整を図っていきたいと考えています。
3	駅前インタビュー調査は荻窪駅前だけではなく、地域ごとの特性を確認するため、その他の駅でも行った方がよい。	駅前インタビュー調査では公園利用について区民意識の傾向を把握するため区内最大の乗降者数の荻窪駅で調査を実施しました。地域特性については公園現地インタビュー調査で把握しました。
4	児童のニーズが少ないというのは実態と合っていない。児童が安心してのびのび過ごせる遊び場を減らさないでほしい。	児童の遊び場についても重要な公園機能の一つと捉えています。そのため、その他の公園機能とともに児童ニーズにも応える公園づくりを進めていきます。
5	何もないただの広場よりも球技ができるスペースや子供達のチャレンジ力を育てるアスレチックを増やしてほしい。	公園づくりに当たっては、球戯利用できる場も含め、多目的な広場、児童の遊び場についても考慮し、整備を進めていきます。
6	地域におけるワークショップに参加したいので、ワークショップ開催情報の告知方法を教えてほしい。開催情報については近隣の図書館に掲示してほしい。	ワークショップのお知らせは実施する公園区内の地域住民を中心にチラシ投函等で周知することを考えています。あわせて該当公園区内の公共施設にはお知らせを掲示するなどの対応も考えていきます。
7	住宅に隣接している球戯場は時間外の夜間利用による騒音や、球戯場から隣接住宅にボールが飛んでくることから、廃止するか大規模公園に移設し、時間外は利用できないよう施錠するなどを提案する。	夜間の騒音対策として球戯場扉の施錠や安全パトロールによる見回りを適宜行っているところですが、またボールの飛び出しについてはボールが外に飛び出さないようネットで囲うなどの対策を行っています。しかし利用の際のマナーによるところも大きく、引き続き注意喚起を行っていきます。球戯場については地元説明会での要望を踏まえて設置された経緯もあり、廃止・移設については地域のボール遊びができる貴重な場所となっていますので、慎重に対応したいと考えています。

No.	意見の概要	区の考え方
8	図書館に隣接する方南中央公園について、中央図書館に隣接している読書の森公園と同様に改修することを提案する。	公園改修の際は隣接の公共施設との一体利用等も視野に入れて公園機能の見直しを図ります。
9	柏の宮公園のプレーパークは子育て世代にはとても良い場所なので、今後も柏の宮公園のようにプレーパークができる公園づくりをしてほしい。常設プレーパークも将来できるよう検討してほしい。	子どもプレーパーク事業は柏の宮公園と井草森公園で定期的実施しているほか、他の公園においても出張型のプレーパークを実施するなど、より多くの子どもたちが参加できるよう取り組んでいるところです。また、常設プレーパークについては規模、運営方法など十分に研究していきます。
10	最近の公園にはボール遊びの禁止や、大きな声を出さないような貼り紙ばかりが張っていて、のびのびと遊べる公園が少ないと思うので、梅里中央公園のように柵の中でボール遊びができるブースを設けてほしい。	区では園内でボール遊びができる貴重な場所として球戯場を設置しています。設置に当たっては区民意見の反映に努めていきます。
11	公園内での遊びについて、何でもかんでも制限するのではなく、色々な世代がそれぞれのブースでのびのびと過ごせる公園をつくってほしい。	公園機能の見直しの際は、公園隣接の方々に配慮しながら公園利用のルールも含め地域の皆さまと話し合いながら区民ニーズに応える公園づくりを進めていきます。